

令和5年度第4回東濃圏域地域医療構想等調整会議 委員意見

○ 議題

- 1 公立病院経営強化プランに係る意見聴取について

○ 意見等及び回答

病院名	意見等	回答
中津川市民病院	中津川市民病院は東濃圏域地域医療構想等調整会議にて議論している坂下診療所の民営化の動向により大きな影響を受けると考える。今回の経営強化プラン13ページ②役割・機能の最適化に「坂下診療所の民営化を視野に入れ」とあるが、本来であれば坂下診療所の動向が決まってからプランを作成すべきではないか。	【中津川市】 ・総務省から求められた経営強化プランの策定期間は、令和4年度又は令和5年度中であり、今年度が最終年度であるため、坂下診療所の動向が決まる前の策定となります。なお、今後の医療提供体制の変化により役割や機能等の見直しが必要となった場合は、毎年の点検評価の中で見直していきます。
中津川市民病院	(2) デジタル化への対応 ①DXによる業務効率化 「マイナンバーカードの健康保険証利用（オンライン資格確認）については、医療保険事務の効率化や患者の利便性向上に資するものであり、公立病院として利用促進のための患者等への周知を継続し行います。」と追記する。	【中津川市】 ・追記については、今後検討していきます。 ・ご意見も参考にしながら、年度ごとに点検評価を実施していきます。
中津川市民病院	中津川市民病院の経営強化において、昨年論議の話題になった坂下診療所に病床をもける話は、全く地域医療構想に反する考えで、坂下病院周辺の住民の意向のみを尊重した考えであると推測されます。今行っている地域医療構想は基礎自治体を中心に、さらに、圏域全体を見据えて最適化を目指すべきものです。中津川市民病院の効率化の観点からも、中津川市内で病床を増やすのはよくないと思います。	【中津川市】 ・中津川市民病院の経営強化プランである本プランにおいては、病床を増やす計画にはしていません。 ・坂下診療所については、民意を受けたうえで市の政策として進めてきており、ご指摘のことについては、ご意見として承ります。
中津川市民病院	現在、中津川市では中津川市民病院のほかに国保坂下診療所の病院化問題をかかえている。本日（2月21日）まさに病院化を鼓舞する新聞折り込みチラシがあったところであり、喫緊の問題としてはこれを解決することが先決である。	【中津川市】 ・本プランは、中津川市民病院の経営強化のためのプランです。坂下診療所については、各方面と調整しながら進めてまいります。医療提供体制の変化等により齟齬が発生した場合は、役割や機能等、毎年点検評価を実施し本プランの見直しを行ってきます。
中津川市民病院	中津川市民病院は経営効率化で在院日数の適正化を図ると考えていますが、目標とする以前にすぐ取り掛かる案件ではないですか。看護師の不足は問題ですが、入院患者が多くて大変ではなく、少ない入院患者数で業務を考える習性になっていませんか。内情がわからないため厳しいかもしれませんが、経費削減よりどのように収入を増やすかを考える必要があると考えます。今回は入っていませんが、国保坂下については中津川市として援助が前提で話が進んでいますが、かえって市の負担が増えていますか。	【中津川市】 ・在院日数の適正化については、現在も取り組んでいるところですが、本プランにおいても経営の効率化に向けて、具体的な取り組みとして位置付けています。 ・中津川市民病院の経営改善については、経費削減、収入増加どちらも必要と考えています。
市立恵那病院	市立恵那病院経営強化プランの1) 経営指標にかかる数値目標について ②経営の安定性・収入に係るものの記載で、令和9年度（計画）の病床稼働率が60.0%とあるが、70.0%としたほうが良い。（コロナ明けの令和6年2月現在での病床利用率でも70%前後である。）	【恵那市】 ・新型コロナウイルス感染症蔓延時以前は病床稼働率は70%を超えていましたが、感染症の影響で感染症病床の確保及び入院患者数の減少により稼働率は減少しました。直近の病床稼働を考慮し令和9年度の病床稼働率を70%へ変更します。
国保上矢作病院	国保上矢作病院は、今後ダウンサイジングして診療所（有床・無床については後日要検討）とするのが望ましい。 <理由> 1) 恵那市の計画では、50床の回復期病棟のみを有する病院とあるが、今後上矢作の地に50床もの回復期病床の必要性は認められない。 2) 診療所化すれば、医師・看護師の確保に苦慮することなく、人件費の削減につながる。 3) 上矢作地区の住民の医療提供に対する要望は、診療所の運営で十分に伝えることができる。（現在の医療環境は大きく変わることはない。）	【恵那市】 ・令和5年度に有識者及び市民による「恵那市地域医療ビジョン策定委員会」において国保上矢作病院のダウンサイジングは検討課題となっています。また、令和6年度以降「恵那市地域医療ビジョン」の内容を具現化するため市民の意見を反映する実施計画策定委員会を設置予定です。 ・ご意見は今後の参考にさせていただきます。
国保上矢作病院	国保上矢作病院は立地もあり、へき地医療の点では急性期病床の減少という案が出ていますが、経営面では仕方ないかと考えます。	

病院名	意見等	回答
中津川市民病院 市立恵那病院 国保上矢作病院	<p>中津川市民病院、市立恵那病院、国保上矢作病院の経営強化プランに関してであるが、両市を合わせて20年後には、人口10万円まで減少すると推測されている。ただし、これは子供、労働生産人口の減少が主たるもので、医療ニーズが高い高齢者数はほど横ばいであると考えられている。従って、今後ますます高度となっていくであろう医療サービスを当該地域で維持していくことを、俯瞰して考えていく必要がある。（税収も含めて）</p> <p>近々は個々の病院プランに耳を傾けることは重要であるが、中津川恵那両市で膝を突き合わせて病院のありかたを議論する時期にきていると考えている。</p> <p>また、地域医療構想は医療費削減のため、急性期病床を減らすことから端を発しているが、医療介護は一つの塊として見なければならず、病床数が削減されれば、介護の受け皿が相応に増えなければならない。これを医療のみで話を進めていくと大きな過ちとなることを肝に銘じなければいけない。地域包括ケアシステムとの両にらみで自治体はマネジメントする義務がある。</p>	<p>【中津川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点において、具体的な広域化については明示できませんが、今後の大きな課題であることは認識しています。 ・令和4年度に開催しました「中津川市公立病院あり方検討委員会」においても、ほとんどの委員が広域化については必要との認識であり、まずは事務レベルでの検討会を実施するなど議論を進めてまいります。 <p>【恵那市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化の進展により医療ニーズは大きく変化することは認識しています。ご意見のありました中津川市、恵那市での広域化については具体的に明示できませんが、課題であることは認識しています。 ・令和5年度に有識者及び市民による「恵那市地域医療ビジョン策定委員会」においても広域による医療提供体制の検討は必要ではないかなどの意見があり、まずは事前に事務レベルでの議論は必要と認識しています。
中津川市民病院 市立恵那病院 国保上矢作病院	<p>中津川市と恵那市は隣接しているので、両病院の経営強化を目指すうえでも、両病院間で、急性期医療においも役割分担・連携しては如何かと思えます。たとえば、整形と脳外は A病院、一般外科はB病院、循環器内科はA病院、消化器内科はB病院といったようなデザインを考えたらいかがでしょうか。この際、両病院でスタッフ・機器の移動も必要になります。実際、熊本市の有名な多くの病院は、まったく設立母体が違っていても、急性期においても役割分担し、全科をカバーせずにやっています。熊本のような人口があるところでもそのような対策をとっているの、人口があまり多くない恵那・中津川においてはそのような対策をとることは意義があると思えますが如何でしょうか。</p>	<p>【中津川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点において、具体的な広域化については明示できませんが、今後の大きな課題であることは認識しています。 ・機能分化や連携強化に向けた広域化の検討については、まずは事務レベルでの検討会を実施するなど議論を進めてまいります。 <p>【恵那市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化の進展により医療ニーズは大きく変化することは認識しています。 ・診療科などにおける機能分化・連携強化については、公的医療機関のため広く市民の意見を聞く場は必要と考えます、今後検討を始める前には事務レベルでの議論は必要になります。
中津川市民病院 市立恵那病院 国保上矢作病院	<p>公立病院経営強化プランに関して、どの病院もよく検討され、地域医療を守べく、真摯な取り組みを検討されていると思われます。</p> <p>今回の国の求めに対しては十分な回答かもしれませんが、願わくば、さらに少子高齢化社会の進行に伴ってこの地域の人口構成は大きく変わっていくことが予想されているかと思われます。この先10年、20年先を見据えて、どのような変更や課題を抱えているのかを、県庁と共に話し合い、地域医療構想等調整会議にて、検討して行く材料をご提供頂けると有り難いと思えます。</p> <p>10年後、20年後はすぐに来る訳ではありませんが、その備えには時間が掛かる事が多く、今から対策を協議すべき事が多々あるのではないかと思われ、これから本会議で検討して行かなくてはならない事項かと思しますので、そういった観点からの見直しやそのための準備・議論をお願い出来れば幸いです。よろしく願いいたします。</p>	<p>【中津川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回策定する中津川市民病院の経営強化プランにつきましては、状況を注視しながら検証を行い、医療制度の変化等により本プランとの齟齬が発生した場合は、見直しを行うよう考えております。なお、医療構想等調整会議においてご協議いただく必要がある案件につきましては、適時報告させていただきます。 <p>【恵那市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見、ご理解ありがとうございます。 ・人口動態や医療ニーズの変化に注視し、この先東濃東部の10年20年先の地域医療を検討する場合は、地域医療構想等調整会議の委員の方のご協力をお願い致します。 ・広域的な運営が必要になった場合は、市立恵那病院・国保上矢作病院の経営強化プランの点検・評価を行い見直しを行います。
その他	<p>地域医療構想を考えるに、医師不足（偏在）、看護師不足、働き方改革を同時に考えていかなくてはなりません。どの問題も難題であり、ひとつづつプライオリティーをつけて解決して行くべき課題です。</p> <p>東濃地区においても、看護師不足、医師不足は切実であり、早急に解決せねば、将来医療崩壊は目に見えています。</p> <p>准看学校が県内において確実に消えて行く・・・本当にこれでいいのでしょうか。</p> <p>准看学校校長として、残念であり、心配です。</p>	